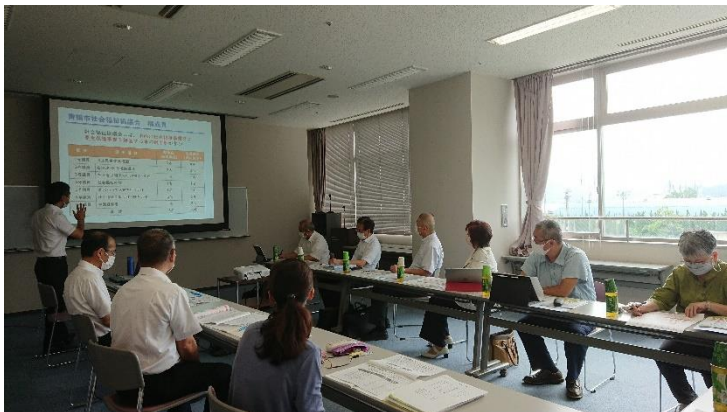


福祉健康委員会市内調査視察報告書

福祉健康委員会

日 程	令和4年7月15日（金） 午前10時～11時40分
視察先 及び 調査事項	社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会 舞鶴市社会福祉協議会の現状について 1. 舞鶴市社会福祉協議会の業務全般の概要 2. 地域における高齢者福祉事業の概要
参加委員	肝付 隆治 委員長、田畑 篤子 副委員長、伊藤 清美 委員 小杉 悦子 委員、杉島 久敏 委員、鯛 慶一 委員
概 要	
<p><視察に至る背景と目的調査の目的></p> <p>福祉健康委員会では本年の重点事項を「地域包括ケアシステムの充実に関する調査・研究」と「小地域での見守り体制の構築に関する調査・研究」としており、今回の調査視察は「地域住民による高齢者の見守りと生活支援」において、舞鶴市社会福祉協議会の地域福祉の取組と課題について現状を確認し、政策提言のための参考資料を得るために行った。</p>	
<p><対応いただいた方></p> <p>舞鶴市社会福祉協議会 事務局長 参与 総務課長 地域福祉課長</p>	
	
<p><調査事項に関する説明の概要></p> <p>社会福祉協議会の社会福祉法人としての位置付け 舞鶴市社会福祉協議会の構成員 舞鶴市社会福祉協議会の事務局構成 社会福祉法における地域福祉の定義 舞鶴市社会福祉協議会の地域福祉活動計画 舞鶴市社会福祉協議会の主な事業 舞鶴市社会福祉協議会が担っている事務局機能 舞鶴市社会福祉協議会の法人決算 舞鶴市社会福祉協議会として感じている地域課題</p>	

<委員の所感>

社会福祉協議会は地域福祉活動として地区担当による地域生活課題の解決支援などに取り組むことを主な事業の一つとしている。社会福祉協議会の使命として最も力を入れなければならない分野であるにもかかわらず、マンパワー不足で十分取り組むことができていないとの説明があった。本年は第5期の地域福祉計画を作成する年であり、重層的構造と地域共生社会の実現による地域福祉の具体的施策を構築するに当たって、舞鶴市社会福祉協議会がどの立ち位置で地域福祉に取り組むことになるのか、人員と予算も含めて早急に方針を決める必要があるものと感じた。



<調査を実施した効果等>

社会福祉協議会の本来の目的と現状を確認することができた。舞鶴市の重層的構造による地域福祉をどのように構築していくのか難しい課題であるが、社会福祉協議会の組織本来の目的を勘案すると、仮に地域住民の互助・共助を第一層とし行政を最終層すると、社会福祉協議会はその間を構成する全ての層の監視・調整役を担うことになるのではないかと示唆を得た。